# 知らなかった問題点目

## なぜ?どうしてこうなったの?

自然の恩恵から搾取に変わってないですか?

問題点

資源開発

猟・生息域の破壊〜自然破壊

個体数激減生物種激減

問題点 (3)

然

悪

家畜飼料生產 焼畑農作地拡大

問題点

ペット産業の鳥さん インコ・オウム (ペット産業の動物さん)

ビジネス商売の仕組みの問題 人の利益と動物の利益の天秤 ペットに対する事業者の価値観

> ペットの鳥さん インコ・オウム (ペットの動物)

鳥さんを お迎えするときは よーく勉強してから お迎えしよう!

個人の問題 知識・技術

問題点 **(1**)

ペットに対する価値観 (終生飼養する)

問題点 **(5)** 

畜産業の鳥さん にわとり (畜産業の動物)

生産効率と消費者の問題 人の利益と動物福祉の天秤 動物に対する事業者の価値観

> 食糧としての鳥さん にわとりの卵とお肉 (食糧としての動物)

消費者の問題 知識・意識

問題点 **(6)** 

畜産動物に対する価値観

と関わる動物たち

崮

### 問題点① 飼い主の知識不足・技術不足

飼育動物に関する知識と技術の不足が、飼い主やし飼育動物の不幸につながるケースが多い。

ロスト・病気・怪我・事故・健康管理・食事・感染症対策

終生飼養のコスト(金銭・労力・時間)※愛情不足は問題外。終生飼養は大前提。

### 問題点② ペット産業における動物福祉のあり方

生体販売(需要供給)や、食餌(継続消費)、動物の利用に関して。

人の経済的利益と動物の利益の天秤。動物の利益=動物福祉。

動物とは、これまでは商品。これからは権利が守られている生き物?

未熟な感染症対策。

#### 問題点③ ブリーディングと生体輸入

劣悪な繁殖環境。ワイルド生体を必要とする。

ワシントン条約や生物多様性条約に整合するか? 現在人間界でブリーディングが完結しているか? 未熟な感染症対策。

#### 問題点④ 密猟と個体数減

誰かが、ワイルド生体を欲しがっている。(おそらく、主にブリーディング業界)需要 → 供給が始まる 密猟時、個体の 9 5 ~ 9 8 %が 死んでしまうという悲しい現実。

#### 問題点⑤ 畜産動物と動物福祉

結論・・・コストがかかる。畜産肉の価格競争力が低くなる。

消費者にも誰にも知られなければ、大丈夫。ということなのか??動物の利用は認められている。どのように利用するかが問われている。

#### 問題点⑥ 畜産動物と動物福祉=消費者の意識改革

知ること。選択してもらうこと。= コストを負担すること。

#### 問題点⑦ 効率的な生産=安い飼料と広い土地

多くの国が安価な肉を大量に消費する(需要)→安価な飼料・広い土地(供給)アマゾン開拓焼畑農業 急速に生息地が奪われる。繁殖できなくなる。個体数が減る。種の絶滅。

#### 問題点⑧ 資源開発(森林を掘り返して、レアアースなどの採掘)

急速に生息地が奪われる。繁殖できなくなる。個体数が減る。種の絶滅。